

# 政府機関が発信した Covid-19 に関する 英文情報の優先テーマの特質

江連 敏和<sup>※</sup>

## 1. はじめに

中国武漢市から症例が報告された新型コロナウイルス (Covid-19) は、2020 年初頭には日本国内でも検出された。その後、イタリアなどヨーロッパでも感染は拡大し、人々の世界規模での移動に伴い、各地へとウイルスは拡散されていった。世界規模での感染状況は刻一刻と変化しており、現在進行形の社会問題である。その変化する状況に応じて、各国は様々な情報を発信している。日本においては厚生労働省を中心に、内閣府や各地方自治体から様々な情報が提供された。状況の変化に伴い、発信される情報の内容も変化している。例えば、大人数での会食など感染の確率が高まる状況や飛沫、接触といった感染経路が情報として報じられた。これらのテーマを、情報の受け手は等しく処理することはできない。そのため、情報に優先順位をつける必要がある。どの情報を優先して扱うかについて、Covid-19 を題材に取り上げた学術的な調査分析はまだ十分に行われているとはいえない。そこで本稿では、Covid-19 に対するワクチン開発以降の情報を対象に危機的状況の中での情報発信の在り方について論じる。具体的には、英語での情報発信を行う世界各地 (アメリカ、カナダ、イギリス、インド、オーストラリア、ニュージーランド) の新型コロナウイルス担当行政機関の公式ウェブサイトと日本の厚生労働省が発信する英語での情報を対象に検証する。またこれに付随して、情報を伝える際のスタイルの相違についても検証する。

新型コロナウイルスの世界的流行は、非日常的である危機の中での情報提供を行政機関がどのように優先度をつけて行ったか検証するモデ

ルケースとなる。Covid-19 関連の情報として挙げられる主なテーマは、国内での感染状況、感染予防の具体策、変異株への対応、蔓延期での政府の政策 (ロックダウンや緊急事態宣言の対象地域や期間など) の詳細、ワクチンの接種会場や予約方法の提示、ワクチン接種後の生活等、多岐にわたるからである。

情報の受け手の属性とその目的もまた多様である。検査や治療方法を知りたい住民もいれば、訪問先の国での対応について知りたいと考える旅行者もいるであろう。

本稿では、1) 刻一刻と変化するパンデミックの渦中にある社会環境、2) 膨大な量と多様な分野から提示される情報、そして3) その情報の受け手もまた様々な属性を持つ、という状況で、各国の行政機関がどの情報を優先順位の高いものと位置づけているのか実例を元に調査を行う。調査は日本語と英語で発信された情報を対象とし、言語間での取り扱いテーマに相違があるか検証する。情報伝達の一部のスタイルや表現についても触れる。

## 2. 背景

行政広報や危機管理時におけるコミュニケーションは Covid-19 発生前では先行研究でどのように論じられてきたのか述べる。

猪狩、上野、剣持、清水 (2008: 159-162) では、行政広報の目的とは、行政と住民の良好な関係を構築することであり、行政が取り扱うテーマも、地域社会の高齢化や住民意識の変化により多様化していると指摘している。具体的なテーマの例としては、「福祉・教育」や「自治事務」、「金融・税

※ 青森公立大学講師

制」を挙げている。危機管理時の対応については、企業広報の立場から、「不確実性に満ちているこの時代にあっては、的確に中長期的な状況を見通すことは至難の業」(p.199)とみており、対応の困難さを予見している。この記述からは、行政広報が蔓延する感染症に関する危機管理コミュニケーションを担うことは、執筆時には想定されていなかったと推測できる。

Capozzi and Rucchi (2013:13-14) では、危機管理時における“Principles of Crisis Response”を10項目挙げる。この項目の中には、“Act in the public’s interest” “Fix the problem” “Communicate fast and forthrightly”が含まれる。読み手の関心と合致したテーマを選定し、問題の解決方法を明示し、その問題に対して取り組んでいる姿勢を見せることが大切であるということである。これらの点は、現在のコロナ対策のどの点をしっかり広報するべきかについて有用な視座となろう。

Krishnamurthy (2019:177) では、危機管理時における組織内のコミュニケーションの基本を論じている。その基本の一つは、“Encourage your superiors and subordinates to seek clarification - even in disagree - instead of blindly accepting you put down. It may be “more-work”, but it will be much safer.” だとする。組織の上司、部下と協議し、評価基準を決定することの方が時間や手間はかかるかもしれないが安全性が高まるということである。また、“Simple, clear, concise, and complete communication is a must in record-keeping and reporting - literally a matter of life and death.” とコミュニケーション時における言語使用の要点も提示する。Krishnamurthy 自身は世界規模での危機的状況を想定していたわけではない。むしろ、職場内での事故（建築現場での作業員の事故のアセスメントなど）のような日常で頻繁に起こりうるケースを想定している。日常のケースとパンデミックを同列に扱うことはできないかもしれない。しかし、列挙された「簡素でわかりやすく、必要な情報が完結しているコミュニケーション」が重要であることは規模の大小を問わず、情報伝達の基本とみなしてよいだろう。

これらの先行研究からは、大規模な危機下にあるコミュニケーションを必ずしも想定したものばかりではない。しかし不透明な未来の中で想定外

の事態で、行政機関が情報提供をする可能性があるかもしれないことは示唆されていた。またそのような危機的な状況下でも、組織内での上司、部下と意見交換を行い、シンプルなコミュニケーションと簡素な言葉を用いて、読み手が関心を持つテーマを優先的に提示し、統一した評価基準に基づいた情勢の判断を示すことが大切であることを改めて喚起するという点で有用であろう。

### 3. 調査

前項では危機管理のコミュニケーションでは、シンプルな論理と簡素な言葉で読み手の関心に沿うテーマを中心に情報を提供する重要性が示された。

では実際、Covid-19 関連情報のうち、各国の行政機関が一般市民にどんな話題を、どのような優先度で、どんな表現を用いて読み手に伝えているのか調査を行った。

調査は、日本と世界各地の Covid-19 対応行政機関の公式ウェブサイトで取り上げられたトピックを対象に行った。公式ウェブサイトを対象にする理由は、行政機関が情報の確かな発信源であることを担保するためである。行政機関を対象とした理由は、行政が人々に対して公的な情報を提供する担い手である点を鑑みたからである。また今回は、国家単位での情報処理の相違を調査するため、行政機関の中でも地方行政機関ではなく、国家全体の情報提供を担う中央政府の省庁を対象とした。

#### 3.1 調査の目的

調査の目的は、日本語で発信された情報と、英語で発信された情報に内容やスタイルで相違がみられるかを目的とする。日本語母語話者を主とした情報の受け手と考えられる日本語による情報提供と、他国の英語による情報提供を比較対照とすることで、日本と他国との異なる言語間で扱うテーマが異なるのか検証する。<sup>1)</sup>

### 3.2 調査対象の行政機関

今回の調査対象の行政機関およびその公式ウェブサイトは以下の7つである。

- (1) 日本：厚生労働省  
<[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)>
- (2) アメリカ合衆国：Centers for Disease Control and Prevention (CDC・疾病予防管理センター)  
<<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/index.html>>
- (3) イギリス：Department of Health and Social Care (保健省)  
<<https://www.gov.uk/coronavirus>>
- (4) カナダ：Health Canada (保健省)  
<<https://www.canada.ca/en/public-health/services/diseases/coronavirus-disease-covid-19.html>>
- (5) インド：Ministry of Health and Family Welfare (保健・家族福祉省)  
<<https://www.mohfw.gov.in>>
- (6) オーストラリア：Department of Health (保健省)  
<<https://www.health.gov.au>>
- (7) ニュージーランド：Ministry of Health (保健省)  
<<https://www.health.govt.nz>>

日本においては、日本語、英語による情報を比較できる、厚生労働省のウェブサイトを選択した。

その他の国については、国家全体の Covid-19 関連情報を提供する中心的な行政機関を選定した。各国の選定理由の第一は、世界の様々な地域での情報発信を分析し、地域の偏りをなくするためである。北米地域の英文情報を分析するため、アメリカ CDC とカナダ保健省を調査対象と

した。ヨーロッパ発信の英文情報を分析するため、イギリス保健省を調査対象とした。中央アジアでの英文情報を分析するため、インド保健・家族福祉省を調査対象に加えた。オセアニア地域での英文情報の発信状況を調査するため、オーストラリア、ニュージーランドの保健省を調査対象に選択した。

調査対象選定の第二の理由は、Covid-19 の蔓延状況が異なる国家を選定することを目的としたからである。多くの感染者を出した地域からは、アメリカ、イギリス、インドを対象とした。一方、世界の中で、状況が比較的落ち着いている地域として、オーストラリア、ニュージーランドを対象とした。

### 3.3 調査期間

調査期間については資料の情報取得日を期日とした。本稿の目的は、異なる言語間で提示される情報に差異がないか日英語の情報を共時的に調査することである。それゆえ、一定の期間を設けて各サイトの情報を通時的に調査することは行わなかった。<sup>2)</sup>

### 3.4 調査方法

調査は、まず各行政機関が設けた公式ウェブサイトのトップページや Covid-19 特設ページ内での優先順位 Top 3 のテーマを整理することから始めた。この方法により、各機関が想定する Covid-19 関連情報の優先順位が判明する。これに伴い、発信されたメッセージの表現、スタイル、語彙について特徴がみられるか観察を行った。

### 3.5 仮説

実際に調査をするにあたり、仮説を設定した。

- (1) Covid-19 に関する情報提供の優先順位は各国とも共通している。
- (2) 同一のテーマを扱っている場合には、情報提供のスタイルや表現も類似してくる。

仮説 (1) は、調査対象国の Covid-19 の蔓延状況やワクチン接種率は異なるものの、現在はワクチン接種会場へのアクセスやワクチンの簡素な説明の優先順位が最優先であり、その後、

感染状況や三密を避けるなど、感染対策への注意喚起が続く、という仮説である。

仮説（２）は、例えば、ワクチン接種の情報では同じ語彙や類語が使用される、ことを想定して立てた。

### 3.6 調査の結果

表１は調査対象の各国 Covid-19 対応行政機関による優先トピックを表形式でまとめたものである。

表 1. 各国行政機関公式ウェブサイトにおける Covid-19 関連情報の優先テーマ

国名	機関名	言語	第 1 テーマ	第 2 テーマ	第 3 テーマ
日本	厚生労働省	英語	ワクチン接種	国内の感染状況・緊急事態宣言地域	5 つの感染可能性が高い状況
		日本語	厚生労働大臣メッセージ	緊急事態宣言発令地域	都道府県の受診相談センター連絡先
		やさしい日本語	生活支援	給付金	労働の権利
アメリカ	CDC	英語	ワクチン接種	ワクチン接種後の生活	キャンプでの行動
イギリス	内閣府（保健省）	英語	行動ルール、制限のロードマップ	検査、自主隔離	海外旅行
カナダ	保健省	英語	国内の感染状況	ワクチン接種	国外からの入国
インド	保健・家族福祉省	英語	国内の感染状況	ワクチン接種ガイドライン	CO-WIN システムガイドライン
オーストラリア	保健省	英語	Health alert (国内の感染状況)	ワクチン関連のまとめ	Vaccine Eligibility Checker, ワクチンの安全性について
ニュージーランド	保健省	英語	Covid-19	国内の感染状況	隔離措置免除旅行、感染可能性地域

まず仮説の検証を行い、その後、各行政機関における Covid-19 関連情報の優先順位やスタイルについて述べる。

### 仮説（１）Covid-19 に関する情報提供の優先順位は各国とも共通している。

表 1. を参照すると、Covid-19 に関する情報で何を優先するかは必ずしも統一されていない。日本の厚生労働省は英語発信の優先テーマは、「ワクチン接種」「国内の感染状況」「感染する可能性が高い事例の紹介」である。しかし国内の感染状況をワクチンよりも優先的に掲載する国もあった。最優先テーマの他にも相違点はある。例えば、アメリカ CDC はワクチン接種後のレクリエーション活動について触れている。一方、イギリス保健省は、ワクチン接種後も引き続き市民が感染予防に努めるよう念を押している。このように各国の優先順位の高い情報は様々であり、すべて共通しているわけではない。結論として、仮説（１）は正しいとは言えない。

### 仮説（２）同一のテーマを扱っている場合には、情報提供のスタイルや表現も類似してくる。

「各国内の感染状況」を例にとると、厚生労働省の英文情報では、Q and A 形式のフォーマットを作成し、それに基づいて日々のデータを更新し、ウェブサイトに pdf 形式でファイルを公開する方法を採用している。例えば、“How many people have been diagnosed with Covid-19 in Japan?” という質問を立て、それに回答する形式である。しかし他国の例では、インド保健・家族福祉省のウェブサイトでは、毎日の感染者数や死者数を単純に掲載している場合もある。決して統一されているわけではない。

情報提供のスタイル不一致の一例として、ワクチン接種前の予診票<sup>3)</sup>を挙げる。厚生労働省のワクチン予診票（英語翻訳版）<[http:// www.mhlw.go.jp/content/000759454.pdf](http://www.mhlw.go.jp/content/000759454.pdf)>では、ワクチンの接種歴を確かめる項目などは、アメリカ CDC の問診票と共通している。しかし、ワクチン優先接種対象のどのグループに所属しているか問

う場面では異なる部分がある。以下はその質問である。

Do you fall into one of the target groups that have a higher priority for this vaccine?  Medical personnel, etc.  Person 65 years or older  Person 60 to 64 years old  Worker at a senior citizen facility, etc.  Person with an underlying disease (name of disease: \_\_\_\_\_ )

また、予診票の最後にワクチン希望の最終意思確認と宣誓をする必要がある点がアメリカ CDC とは異なっている。

#### COVID-19 Vaccination Request Form

After receiving a medical examination and explanation from a doctor and understanding the effects and side effects of the vaccine, do you wish to receive this vaccine? ( I wish to be vaccinated/  I do not wish to be vaccinated)

The purpose of this preliminary medical examination form is to ensure the safety of the vaccine.

厚生労働省の予診票のタイトルについて、“Prevaccination Screening Questionnaire for COVID-19 vaccine” となっている。現在、日本も複数の製薬会社によるワクチン接種が始まっている。それゆえ、vaccines と複数形に今後変更されると予想される。実際、アメリカ CDC の問診票では複数形である。

感染状況の報告方法やワクチン接種の問診票の表現でも質問項目に各国の特徴が反映されている場合や表現の相違が見受けられる。結論として、同一のテーマを扱っている場合でも状況提供のスタイルや表現は完全に統一されているわけではない。ただし Covid-19 に関する情報を Q and A 形式で提供するなど大枠で類似している部分もある。それゆえ部分的には正しいと言える。

次に各々の行政機関の特徴について述べる。

## 厚生労働省のデータ

厚生労働省の英文ウェブサイトでは、ワクチン接種を第一のテーマとしている。次にアーカイブ形式で時系列にまとめられた感染状況や Covid-19 の典型的な症状の資料、そして緊急事態宣言の発令地域、5つの感染状況可能性が増大する場面の英訳版が付されている。(Covid-19に関する情報は内閣府でも発表されるため、内閣府の該当ページへのリンクも張られている。)

このウェブサイトには、各国語に翻訳されたワクチン接種用の予診票の記入例を参照することができる。記入のフォーマットについては前項で述べた。ここではその他の表現について言及する。

予診票の各質問の英文については、いくつか特徴がみられる。その一つがワクチンクーポンの記載住所と現住所の確認である。質問は“Is the city, town, or village where you currently reside the same as the city, town, or village stated on the coupon?”となっている。正確な情報を把握するために配慮した表現かもしれない。しかしシンプルに“Do you live in the city, town, or village on the coupon?”といった文に変更できる可能性もある。また調子のよくない箇所がないかの質問は、“Are there any parts of your body that are not feeling well today?”であるが、これは英文として自然であろうか。代替案として、“Do you feel unwell?”や“Are you feeling unwell?”といったシンプルな質問文にすることもできよう。そのうえで、もし本当に調子の悪い箇所があるのであれば、それを予診票に具体的に記載してもらい、というコミュニケーションの流れも考慮すべきであろう。<sup>4)</sup>

日本のワクチン接種の予診票はそもそも接種希望者への質問数が多く、またワクチン接種希望者自身が希望の意思を自分で示すことが必要な点が他国の問診票に比べて特異な点である。それを反映させる自然な英文を作成するのは難しいのかもしれない。英文の表現に関しては、よりよく改善できる余地をいくらか残しているといえるのではなかろうか。

感染状況の報告については以下のように述べている。

As of April 30th 2021, 586,782 people have been

diagnosed with COVID-19 in Japan. This accounts for 0.5% of the total population. For latest updates, please refer to the following link: <https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>  
\*The number of cases include only those who tested positive. Therefore it may miss those people who were actually infected but without symptoms and therefore did not seek medical care. \* As of 00:00 April 30th, 2021(.

興味深いのは、上記のメッセージ内で、総人口における国民の感染率を提示している点である。PCR検査や抗体検査を受けた陽性者のみをカウントしており、検査を受けていない無症状の感染者が実際に市中に存在する可能性があることも付記している。こういった留意事項については、他国のサイトではみられない特徴である。

もう一つの特徴として、日本国内における陽性者数や全人口における感染率、そして重症化率を具体的な治療法や感染が疑われる際の連絡方法や連絡先、入院や宿泊療養の施設の案内、実際の治療方法などよりも情報として優先させている。この理由の一つは、日本在住者および日本への渡航予定者への「安心」を提示するという目的があると思われる。

一方で、情報提供として懸念される点もある。感染疑いがある場合の問い合わせ方法や連絡先が後に記されるという点である。これは日本の居住者や長期滞在者、すでに日本に来ている訪問者を英語での情報の受け手として想定していないと捉えられかねないからである。また、他国との100万人当たりの感染者数の比較や、治療方法に関して、「ほとんどの患者さんは無症状で済んでいる、特に治療は行っていない」といったメッセージを掲載することはコロナ被害を矮小化している印象を読者に与える可能性がある。

さらに、“Is the number of individuals diagnosed with COVID-19 higher in Japan than in other countries?”という質問項目がある点も他の国にない特徴である。情報として他国との比較をすることは有用かもしれない。しかし見方によっては、自国の優位性をアピールしているにとられかねない懸念もあろう。

## アメリカ CDC のデータ

アメリカ合衆国の CDC のウェブサイトトップページには、新型コロナウイルス対策の特集ページへのリンクが設定されている。またこの他のコロナ対策項目について、“COVID-19 Testing” (COVID-19 検査)、“After you’re Fully Vaccinated” (ワクチン接種後の生活) “Beaches and Pools” (海岸とプールでのコロナ対策) となっている (括弧内の日本語訳は著者による)。特集ページのトップには、“Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) | CDC” とあり、Covid-19 のワクチン接種会場の情報へのアクセス方法がある。第2テーマとして、ワクチンを摂取完了後にすべきこと、youth camp など行楽地で気をつけるべきことに焦点を当てている。ワクチン接種完了後の生活場面として、キャンプなど具体的なレクリエーションが想定されて書かれていることに CDC の情報提供の特異点がある。

また、提供する各情報の根底にあるポリシーが首尾一貫しているのも CDC の特徴である。それはワクチン接種場所の検索から、ワクチン接種後の生活への変化、またキャンプ場での行動、という過程で、「12 歳以上の全ての人にワクチン接種を推奨する」ことを徹底して主張している点である。コロナ対策として、「ワクチン接種が最優先」というポリシーを明確にしているのである。

この背景としては、アメリカは一定の接種率を達成した後、接種率が鈍化していることが一因である可能性がある。副反応やワクチン開発の新技术に懐疑的な人々、「ワクチン接種は特定の個人や製薬会社への利益をもたらすための陰謀」だと考える人々など、接種を控えている人々が一定程度存在し、その人たちにワクチン接種を再考することを目的にするならば、メッセージを明確にする必要があるからである。

## イギリス保健省のデータ

イギリス全体の Covid-19 情報の集約は、イギリス政府のウェブサイト内で行われている。イギリス政府の Covid-19 関連情報で特徴的なのは、国や地域の感染状況ではなく、会合で一度に合う人数等の行動ルールや行動制限についてまず

述べていることである。特に、ワクチン接種後であっても基本的な行動制限は変更されない点を述べ、市民に対して油断することがないように求めていることも特徴といえよう。昨今の報道では、イスラエルなどワクチン接種率の高い一部の国々において、行動制限を緩和する地域も出てきた。しかし英国国内では状況が異なることを、“Coronavirus restrictions remain in place across the country, including for people who have been vaccinated.” というメッセージを提示することで示す。“Coronavirus restrictions” を文の主語に置くことにより、行動の制限のルールを順守するよう強調している (Coronavirus と一語で表現された部分は原文ママである。)

## カナダ保健省のデータ

カナダ保健省の英語ウェブサイトでは、国内の感染状況を第1テーマにしている。第2テーマではワクチン接種、第3テーマでは、カナダ国外からの入国希望者に対する状況を示す。ワクチン接種が第一テーマに設定していない部分が特徴的である。

## オーストラリア保健省

オーストラリア保健省のウェブサイトでは、画面上部に health alert を表示し、地域ごとの感染状況を示している。第二に、ワクチン関連のニュースがまとめて提示される。第三に、Vaccine Eligibility Checker というワクチン接種ツール (ワクチン接種会場の検索やワクチン接種の予約ツール) の説明や実際の使用手続きの画面への誘導が示される。Vaccine Eligibility Checker と類似のシステムは他国のサイトでも備わってはいる。しかし、固有のシステム名を付け、動画による使用方法の解説を付す点は、オーストラリア保健省の特徴といえる。

## ニュージーランド保健省

ニュージーランド保健省のウェブサイトは、まず Covid-19 全般の情報を集約して第一テーマにしていることである。この効果により、まずはこのリンク先を参照するようユーザーを誘導することができる。そのうえで、個別のテーマ

として、国内の感染状況とオーストラリアへの渡航と隔離免除の条件が示される。オーストラリア、ニュージーランド間は移動が可能である。しかし移動は常時可能なのではなく、感染者が出た場合には、一時的に停止される。感染者の行動分析が終わり、渡航による感染危険性の評価が払しょくされれば渡航が再開される。それゆえ両国間の渡航の可否を明示することは重要と考えられる。例えば、“If you have been in Victoria since 7:59pm (NZT) on 25 May you must not fly to New Zealand from anywhere in Australia until further advised.”と具体的な日時・場所を示し、別なアドバイスが出てくるまで渡航禁止される地域がある。頻繁な移動規制とその緩和の情報が第3テーマに挙げられる部分がニュージーランドの特徴といえる。

Covid-19の感染状況は世界的に広がっている。しかし各国の関連情報からはそれぞれの国が重要と考えているテーマが異なり、また何を主張したいのが特徴的に表れている。日本は、他国との比較や予診票での慎重な姿勢が垣間見える。アメリカではワクチン接種後の休暇の過ごし方に具体的に触れる。イギリスでは、ルールを順守するよう市民に念を押す。オーストラリアやニュージーランドは入国制限と緩和、そして感染者の追跡情報を細かく提示することで、感染者の広がりを防いでいることを示す。各国の特徴が「危機的な状況下での情報提供」という場面でも現れるのである。

#### 4. 論考

Covid-19の各国の行政機関が提供した情報の調査結果を元に、危機の中にある時こそ志向すべきコミュニケーションの在り方について論じる。

##### 論考1：危機の時こそ情報の受け手が求める情報を提示するべきである

Covid-19に関するメッセージ発信について論じるときに考慮すべきことがある。それは発信するメッセージの基本はポジティブとネガティ

ブ、両方の性質を常に帯びた状態になることである。例えば、Covid-19の蔓延期において、日々の感染者数、病床使用率、重症者数、死亡数は右肩上がりの上昇を見せる。これらの上昇する数値データ自体が人々にネガティブな印象を与えうる。また同時に、行動抑制やステイホームといった政策を推し進める場合には、感染者増加等のデータを提示することによって、人々に感染予防のための行動を円滑に促すこともできよう。感染予防に向けての望ましい行動を人々に求める場合には、ポジティブなメッセージともいえる。

肯定、否定、両方の情報が入り混じる中で各国の行政機関が優先する情報は様々である。しかし第一に挙げられるのは、自国の感染状況、ワクチン接種のための情報検索やワクチンの効果、そしてこれから渡航しようとする人々への情報提供やワクチン接種後の活動への言及となっている。

今回の新型コロナウイルスの情報提供で懸念される点は、客観的な情報の中に、例えば厚生労働省のデータからは、他国との一定の人口に対するCovid-19感染率が含まれている点である。感染症の研究者、専門家にとってはこのデータは感染状況の分析をするうえで重要な指標となりえるのかもしれない。しかし一般の市民が情報の受け手である場合には、日本の感染率の低さと安全性をアピールしているのかのような印象を与えかねない。

確かに、日本では欧米に比べ、感染率は低いかもしれない。本稿執筆時において緊急事態宣言こそ何度かなされているものの、大規模なロックダウンは東京、大阪等の大都市ですら行われず、何度も感染の波を乗り越えてきた。他国のような医療崩壊の危機の可能性が論じられながら、崩壊寸前で踏みとどまっている。これらの奮闘ぶりを誇りにしたい気持ちは理解できる。

しかし厚生労働省の公式ウェブサイトの訪問者が望んでいる情報は「日本がいかに他国よりも感染状況が優れているのかを示す証拠であろうか。訪問者が望んでいるのは、「自分がコロナウイルス感染症に日本国内で罹患したかもしれない、どうしたらよいのか分からないから教え



てほしい」ということではないのだろうか。あるいは「万が一、訪問先である日本で Covid-19 に感染した場合の連絡先や対処方法」を下調べすることが目的かもしれない。

日本国内において日本語のメッセージであれば、感染疑いの際の連絡先はすぐに判明するかもしれない。その連絡先は、帰国者相談センターだったり、地元の保健所や発熱外来だったりするであろう。

しかし英語のメッセージを読む読者は、そのような情報にアクセスできないからこそ厚生労働省のウェブサイトを訪問しているのではないのだろうか。情報の受け手が様々であるために一つのニーズに絞ることはできないかもしれない。しかし「やさしい日本語」なども用いて、日本語母語話者と同等の情報を非母語話者にも提供しようという現在の機運があるからこそ、非常時での情報提供の在り方について今一度、見直す必要がある。

## 論考 2: シンプルで分かりやすい表現の提案

危機が到来し、日常から外れた行動を皆が取らなければならないときこそ、日本語でも英語でもシンプルで分かりやすく、使い慣れた自然な言葉を用いるべきである。日本の厚生労働省の予診票には、日本独特の慎重さが反映されている。例えば、クーポン記載の住所確認やワクチン接種希望者の最終意思確認がその慎重さを表している。確かに、ワクチン接種後に体の変調をきたした接種者やその家族が、行政機関との訴訟を起こすリスクがまったくないわけではない。しかし、アメリカでも問診票に最終意思確認を行う項目は見られない。私の主張としては、他国の例を参照しながら、表現や記載項目については簡素化してもよい部分もあるのではないかと考えている。他国の例でもワクチン接種後の訴訟リスクが高いとは現時点では言い切れない。接種者の利便性や接種の効率性の向上を目的とするならば、表現をシンプルに分かりやすくすることは可能ではないだろうか。

厚生労働省では「やさしい日本語」を非母語話者に対して使用することを推奨する環境がある。「やさしい日本語」を日本語母語話者が推進

するのは、非母語話者に対して、「やさしい日本語」を決して幼稚で恥ずべきものとして否定的に捉えるのではなく、危機的な状況で誰もがコミュニケーションを円滑に図れる、という他者に対する寛容な態度が根底にあるはずである。それは自分たちが第二言語を使用する場面でも同じではないだろうか。立派な英語を使わなければならないという考えにこだわらず、分かりやすく自然な表現を、*native speaker* との連携を図りながら改善することを目標とするべきである。「やさしい日本語」を推進しているのだから、非母語の一つである、英語をシンプルに用いる自分自身も肯定的に捉え、堂々とコミュニケーションを図ることが肝要である。

## 5. 結論と課題

本稿では、Covid-19 関連情報の中で、各国行政機関がどのテーマを優先的に扱ってきたのか英語で発信された情報を元に調査した。一般市民へのワクチン接種が開始されて以降、ワクチン接種に関する情報がどの国でも最優先とされ、次点のテーマも共通すると調査前には予測していた。しかし、実際には異なっていた。その理由として、各国の英語発信による情報の受け手が異なる可能性が高い点、各国独自の政策や事情があることを考察で述べた。今回の調査では、調査対象国は日本を除き、英語が第一言語である国や、英語が主要な公用語となっている国に限定されていた。しかし、英語による Covid-19 の情報発信は、これらの国々のみが行っているものではない。本稿で取り上げなかった国々にも調査を広げることが今後の課題の一つといえよう。また今回の調査は、日本と複数の国々の発信情報を共時的に分析したものである。それとは異なり、一つの国から発信された情報を通時的に観察する方法も本稿での論考を深化させるのに有益であると考えた。したがって、調査対象国の拡充や通時的なアプローチを加えることを目標として、今後も危機的な状況における情報発信の在り方を論じていきたい。

(2021 年 5 月 31 日受付, 2021 年 7 月 6 日受理)

## 注

- 1) なお、厚生労働省は、日本に滞在する日本語非母語話者向けに「やさしい日本語」での情報発信を行っている。本稿の調査の主体は、日本語と英語による情報発信の相違である。しかし、想定される情報の受け手が異なる場合に、同一機関が発信する情報が変化するのか参考にするため、調査に加えた。「やさしい日本語」の定義は、東京都オリンピック・パラリンピック準備局 <<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/references/easyjpn.html>>によると、「普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語」である。「やさしい日本語」を用いる背景には、阪神淡路大震災発生時に、日本語母語話者以外に必要な情報が伝わらなかったことを教訓に、様々な情報を非母語話者に伝える配慮を行おうという機運に応えたものと言われる。この背景も考慮し、世界的な危機状況における日本語による情報提供の例として、本稿でも取り上げた。やさしい日本語を加えることで、日本の母語話者に対する情報と日本語を第二言語とする、労働者・留学生・旅行者向けの情報に扱うトピックの優先度に変化が確認できるか検証することができるからである。
- 2) 調査方法の一つとして、「特定のウェブサイトに関して、Covid-19に関する情報のテーマを観察し続ける」方法も当然であろう。取り上げるテーマの変遷を通時的に辿り、どのような背景と社会情勢がテーマの変更に影響を与える因子になるのかについては今後の課題として残したい。
- 3) 問診内容を抜粋した厚生労働省の予診票（英語翻訳版）データとアメリカ CDC の問診票 (p.1) を appendix 1, 2 として添える。実際の問診票データ全体では、ワクチン接種希望者への質問の他、問診を行う医療従事者へのガイドライン等が含まれる。
- 4) 一般市民とのコミュニケーションを目的とした問診票の記載とは異なり、解剖学など医療専門家間でのコミュニケーションでは、特

定の身体部位の名称は Nomina Anatomica やそこから派生したいくつかの基準を元に統一が図られている。

## 参考文献

(英語文献)

Capozzi, L. and Rucchi, R. Susan. (2013). *Crisis Management in the Age of Social Media*.

Business Expert Press. New York.

Krishnamurthy, N. (2019). *Introduction to Enterprise Risk Management*.

Partridge. Singapore.

(日本語文献)

猪狩誠也、上野征洋、剣持 隆、清水正道 . (2008) . 『CC 戦略の理論と実践 — 環境・CSR・共生 —』 同友館 .

## 参照ウェブサイト

(英語ウェブサイト)

Centers for Disease Control and Prevention (the United States). “Covid-19.”

Retrieved from <<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/index.html>>.

May 31, 2021.

Centers for Disease Control and Prevention (the United States).

“Prevaccination Checklist for Covid-19 Vaccines.”

Retrieved from

<<https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/downloads/pre-vaccination-screening-form.pdf>>.

May 31, 2021.

Department of Health (Australia). “Home Page.”

Retrieved from <<https://www.health.gov.au>>. May 31, 2021.

Department Health and Social Care (British).

“Coronavirus (COVID-19).”

Retrieved from <<https://www.gov.uk/coronavirus>>. May 31, 2021.

Health Canada (Canada). “Corona Disease (COVID-19).”

Retrieved from

<<https://www.canada.ca/en/public-health/services/diseases/coronavirus-disease-covid-19.html>>. May 31, 2021.

Ministry of Health (New Zealand). “Home Page.”

Retrieved from <<https://www.health.govt.nz>>. May 31, 2021.

Ministry of Health and Family Welfare (India). “Home Page.”

Retrieved from <<https://www.mohfw.gov.in>>. May 31, 2021.

(日本語ウェブサイト)

厚生労働省(日本). 「新型コロナ感染症について」.

Retrieved from

<[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)>.

May 31, 2021.

厚生労働省(日本). 「新型コロナワクチン予診票(英語翻訳版)」.

Retrieved from <<https://www.mhlw.go.jp/content/000759454.pdf>>.

May 31, 2021.

東京オリンピック・パラリンピック準備局. 「やさしい日本語について」.

Retrieved from

<<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/references/easyjpn.html>>. May

31, 2021.

Appendix 1. 日本のワクチン接種予診票（英語翻訳版）

Prevaccination Screening Questionnaire for COVID-19 vaccine

\*Please fill in or check the  boxes inside the bold frame

**注意**  
 本予診票を用いて請求を行うことはできません。  
 日本語の予診票に転記の上、請求を行ってください。

Address on the resident card	Prefecture	City	
	Address		
Furigana	Tel. No.		( )
Name			-

Date of birth	Year	Month	Day	( ) years old	<input type="checkbox"/> male <input type="checkbox"/> female	Body temperature before examination	Degrees
---------------	------	-------	-----	---------------	---	-------------------------------------	---------

Question	Response field	Field filled in by doctor
Are you receiving the COVID-19 vaccine for the first time? (If you have been vaccinated before, date of 1st time: MM/ DD, date of 2nd time: MM/ DD)	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Is the city, town, or village where you currently reside the same as the city, town, or village stated on the coupon?	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Have you read the "Instructions for the COVID-19 vaccine" and do you understand the effects and adverse side effects?	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Do you fall into one of the target groups that have a higher priority for this vaccine? <input type="checkbox"/> Medical personnel, etc. <input type="checkbox"/> Person 65 years or older <input type="checkbox"/> Person 60 to 64 years old <input type="checkbox"/> Worker at a senior citizen facility, etc. <input type="checkbox"/> Person with an underline disease (name of disease: )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Are you currently suffering from any kind of illness and receiving treatment or medication? Name of disease: <input type="checkbox"/> heart disease <input type="checkbox"/> kidney disease <input type="checkbox"/> liver disease <input type="checkbox"/> blood disease <input type="checkbox"/> disease that makes it difficult to stop bleeding <input type="checkbox"/> immune deficiency <input type="checkbox"/> other ( ) Nature of treatment: <input type="checkbox"/> blood-thinning medicine ( ) <input type="checkbox"/> other ( )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Have you had a fever or gotten sick in the last month? Name of disease ( )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Are there any parts of your body that are not feeling well today? Condition ( )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Have you ever had a convulsion (seizure)?	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Have you ever experienced severe allergic symptoms (such as anaphylaxis) from medications or foods? Medication or food that caused the problem ( )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Have you ever been sick after receiving a vaccine? Type of vaccine ( ) Condition ( )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Is there any possibility that you are currently pregnant (for example, your period is later than expected)? Or are you breastfeeding?	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Have you had any vaccines within the last two weeks? Type of vaccine ( ) Date of vaccine ( )	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Do you have any questions about the vaccine today?	<input type="checkbox"/> yes <input type="checkbox"/> no	
Field filled in by doctor	In light of the results of the questions above and examination, today's vaccine is ( <input type="checkbox"/> possible, <input type="checkbox"/> not possible). I have explained the effects of the vaccine, side effects, and the Relief System for Injury to Health with Vaccination to the patient. <input type="checkbox"/> The person to be vaccinated is under 6 years old (fill in if applicable)	Signature and seal of doctor

**COVID-19 Vaccination Request Form**

After receiving a medical examination and explanation from a doctor and understanding the effects and side effects of the vaccine, do you wish to receive this vaccine?  
 I wish to be vaccinated/  I do not wish to be vaccinated

The purpose of this preliminary medical examination form is to ensure the safety of the vaccine.

I understand this and consent to this prevaccination Screening Questionnaire being submitted to the municipal government, the All-Japan Federation of National Health Insurance Organizations, and the National Health Insurance Organization.

Signature of vaccinated person or their guardian
Date: _____
(*If the person to be vaccinated is unable to sign the form by himself/herself, a representative must sign the form, and the representative's name and relationship to the person to be vaccinated must be indicated.) (*In the case of a person under 16 years of age, the form must be signed by the guardian; in the case of an adult ward, the form must be signed by the person himself/herself or the adult guardian.)

Field filled in by doctor	Name of vaccine and lot number	Inoculation amount	Vaccination location, name of doctor, and date of vaccination	*Please fill in the medical institution code and vaccination date so that they fit within this field.
	Seal position	ml	Vaccination location	Medical institution code
	*Paste it straightly along with the frame.		Name of doctor	Date of vaccination *Example: April 1, 2021 →2021/04/01
	(Note: Make sure that the expiration date has not expired.)			

## Prevaccination Checklist for COVID-19 Vaccines



### For vaccine recipients:

The following questions will help us determine if there is any reason you should not get the COVID-19 vaccine today. **If you answer “yes” to any question, it does not necessarily mean you should not be vaccinated.** It just means additional questions may be asked. If a question is not clear, please ask your healthcare provider to explain it.

Name \_\_\_\_\_

Age \_\_\_\_\_

	Yes	No	Don't know
1. Are you feeling sick today?	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. Have you ever received a dose of COVID-19 vaccine? • If yes, which vaccine product did you receive? <input type="checkbox"/> Pfizer <input type="checkbox"/> Moderna <input type="checkbox"/> Janssen <input type="checkbox"/> Another Product (Johnson & Johnson) _____ • Did you bring your vaccination record card or other documentation? (yes/no)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. Have you ever had an allergic reaction to: (This would include a severe allergic reaction [e.g., anaphylaxis] that required treatment with epinephrine or EpiPen® or that caused you to go to the hospital. It would also include an allergic reaction that caused hives, swelling, or respiratory distress, including wheezing.) • A component of a COVID-19 vaccine, including either of the following: o Polyethylene glycol (PEG), which is found in some medications, such as laxatives and preparations for colonoscopy procedures	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
o Polysorbate, which is found in some vaccines, film coated tablets, and intravenous steroids	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
• A previous dose of COVID-19 vaccine	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. Have you ever had an allergic reaction to another vaccine (other than COVID-19 vaccine) or an injectable medication? (This would include a severe allergic reaction [e.g., anaphylaxis] that required treatment with epinephrine or EpiPen® or that caused you to go to the hospital. It would also include an allergic reaction that caused hives, swelling, or respiratory distress, including wheezing.)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. Check all that apply to you: <input type="checkbox"/> Am a female between ages 18 and 49 years old <input type="checkbox"/> Had a severe allergic reaction to something other than a vaccine or injectable therapy such as food, pet, venom, environmental or oral medication allergies <input type="checkbox"/> Had COVID-19 and was treated with monoclonal antibodies or convalescent serum <input type="checkbox"/> Diagnosed with Multisystem Inflammatory Syndrome (MIS-C or MIS-A) after a COVID-19 infection <input type="checkbox"/> Have a weakened immune system (i.e., HIV infection, cancer) <input type="checkbox"/> Take immunosuppressive drugs or therapies <input type="checkbox"/> Have a bleeding disorder <input type="checkbox"/> Take a blood thinner <input type="checkbox"/> Have a history of heparin-induced thrombocytopenia (HIT) <input type="checkbox"/> Am currently pregnant or breastfeeding <input type="checkbox"/> Have received dermal fillers	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Form reviewed by \_\_\_\_\_

Date \_\_\_\_\_

05/27/2021 CS321629-E

Adapted with appreciation from the Immunization Action Coalition (IAC) screening checklists

1

# The Nature of Priority Messages about Covid-19 Provided by Governments in English Language

Toshikazu EZURE

## **Abstract**

Since the development of vaccines for the new corona virus (Covid-19), a lot of information has been released by governments around the world. However, among the enormous information about the virus released to the public, it is not clear which of the information should take priority for dissemination. Therefore, this paper investigates the official information about Covid-19 available in English language on the official websites of governments to identify the priority information being provided. In addition, favorable styles and phrases were also identified for delivering the messages. The findings indicate that each government has several common topics which appears consistently on the priority list of messages. Such information includes how to get vaccinated, case alerts, preventative measures etc. Furthermore, we investigated the appearance of unnatural English phrases in the messages, with a particular focus on Japan. We found unnatural English phrases within the messages provided by the government and suggest ways in which such messages could be made clearer by advocating the use of simple and clear writing styles and phrases for the precise and smooth delivery of such information/messages to the public.